ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会広報誌「歩くスキー第 14 号（平成 29 年度第 2 回）」平成 29 年 11 月 30 日

もっとスポーツを！！いつでも、どこでも、誰でもできる

歩くスキー

「よろしくお願いいたします―平成 29 年度後期事業開始にあたり―」

ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会理事長　丸山光徳

雪の便りが、聞かれる季節になりました。さて、2017 年度の雪のシーズンがやってまいりました。12 月の救急救命法の研修から 4 月のニセコ連峰歩くスキー大会までいろいろな大会が始まります。本年度は、役員が変わり 1 年目となりますがご協力をよろしくお願いいたします。各大会は、運営委員長を中心に計画を立てていただいております。

前年度から担当が変わった方は、前年度の担当の方との引継ぎをしていただき、どの大会も成功することができるようにお願いしたいと思います。運営上は、連絡と確認を密にしていただき、皆様方でいろいろと気が付いたことをカバーしていただきたいと思います。また、事故などがないように安全に注意していきたいと思います。

参加者の皆様に喜んでいただけるような運営をしていただければと思います。「来てよかった・楽しかった」と参加者に思っていただき、次回の大会に足を運んでいただけるように頑張っていきましょう。役員の皆様は、各大会にたくさん参加していただきたいと思いますが、体調が悪い時は無理をせず、欠席のご連絡をいただきたいと思います。自分の体を第一にご協力ください。

平成２９年度後期（冬季）事業集会および懇親会開催される

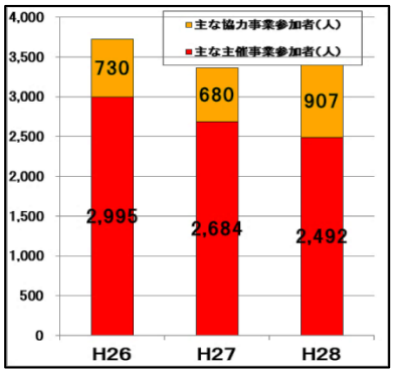
（後期集会参加会員）

平成２９年１１月２６日（日）に正会員２８名が参加し、平成２９年度後期（冬季）事業集会および懇親会がアサヒビール園はまなす館とロイン亭で開催されました。

冒頭に丸山光徳理事長より「来てよかった・楽しかった、次回も参加したい」と大会参加者に思っていただける大会運営を呼びかけました。

引き続き平成 29 年度後期事業スケジュールと事業内容等の説明が運営長ならびに事務局より行われました。今回は特に当協会の喫緊の課題である「大会参加者増加対策」及び「新規会員増加対策」の具体案を事務局と企画部が共同でレビューしました。

「各種大会参加者増加対策」及び「新規会員増加対策」について　事務局、企画部



（各種大会参加者数の推移）

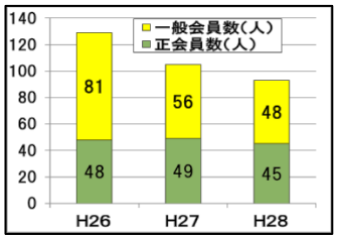
当協会の主な主催事業および協力事業における過去３年間の**「各種大会参加者数」**ならびに当協会の**「一般会員および正会員数」**の減少傾向が続き、協会の財政状況へ相当な影響を与えています。

札幌市スポーツ振興審議会“冬季スポーツ”に関する答申では「近年、札幌市民の冬季スポーツ離れが目立ち、冬季スポーツ人口は伸び悩むとともに競技団体への登録者数も減少傾向にある。これから、冬季スポーツ人口を伸ばすためには、未経験者や経験はあるが現在は行っていない人の関心を集め、底辺を拡大する必要がある。」としています。このことから今後、当協会の各種大会参加者数を増やす取組には、「未経験者や経験者で現在は行っていない人の関心を集めること」がヒントになりそうです。

前年度に北海道新聞社が「道新 jr 歩くスキー教室」の参加者増加対策として、募集広告を５回程掲載したところ、定員１００名を超える応募がありました。本年度はこの成功事例を参考に従来のビラなどのＰＲ方法に加え、報道機関等への情報提供を行い、参加者の増加を図る計画です。

新規会員増加対策としては、事務局作成の会員募集チラシの裏面に写真入り活動状況を印刷し、「初めての歩くスキー“滝を見に行こう”」、「第３４回滝野公園歩くスキー大会」、「第４３回道民・札幌市民歩くスキーの集い」等で参加者に配布する計画です。

会員の皆様のアイデアも大歓迎ですので、是非ご協力をお願いいたします。



（一般・正会員数の推移）

平成２９年度後期事業（冬季行事）カレンダー（平成２９年１１月～平成３０年５月）

問合せ先：NPO 法人北海道歩くスキー協会事務局 TEL/FAX（011）532-7160 mail:h_arukuski@yahoo.co.jp

No.	月日（曜日）	事業名	会場	*いつでも、どこでも、だれでも歩くスキー*
1	H29.11.26（日）	後期集会	アサヒビール園	
2	H29.12.9（土）	救命救急講習会	札幌北辰病院 2 階講義室	
3	H30.12.23（土・祝）	平成２９年度クロスカントリースキー講習（有料、会員限定）	滝野公園「常設コース」	
4	H30.1.8（月・祝）	第 34 回滝野公園歩くスキー大会兼第 4 回滝野公園クロスカントリースキー記録会	滝野公園「常設コース」	
5	H30.1.11（木）～3.15（木）	平成 29 年度石狩市冬季健康スポーツ教室「歩くスキー」	スポーツ広場歩くスキーコース及び海洋センター周辺	
6	H30.1.6（土）、13（土）、20（土）、27（土）、2.3（土）	平成 29 年度初めての歩くスキー〝滝を見よう〟	滝野公園「滝野公園渓流ゾーン」	
7	H30.1.14（日）	第 38 回障がい者歩くスキーの集い	滝野公園渓流コース	
8	H30.1.28（日）	第 43 回道民・札幌市民歩くスキーの集い	滝野公園「常設コース」	
9	H30.2.4（日）	第 38 回札幌国際スキーマラソン大会	札幌ドーム特設コース	
１０	H30.2.4（日）	第 39 回石狩浜歩くスキー＆かんじきウオーキングの集い	石狩浜	
１１	H30.2.10（土）、11（日）	第 5 回スノーデュアスロン北海道 2018	滝野公園「常設コース」	
１２	H30.2.18（日）	2018 道新 Jr 歩くスキー教室 in 中島公園	中島公園歩くスキーコース	
１３	H30.2.25（日）	野幌森林公園スノーハイキング	野幌森林公園	
１４	H30.3.18（日）	平成 29 年度春山スキーハイキング	無意根山	
１５	H30.4.8（日）	第 35 回ニセコ連峰歩くスキー大会	蘭越町字湯里	
１６	H30.5.20（日）	平成２９年度環境保護講座	北海道大学植物園	

ホームページもご覧ください。　URL：http://h-arukuski.sakura.ne.jp

協　会　ニ　ュ　ー　ス

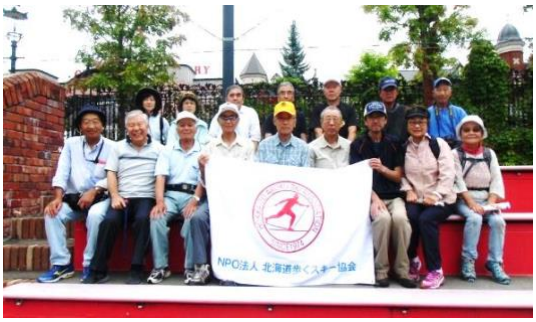
平成２９年度前期（夏季）事業　～札幌郊外ウォーキング～

平成 29 年 8 月 13 日（日）、「札幌市西区宮の沢「宮丘メルヘンコース」

時々霧雨模様の曇天の中、札幌市西区宮の沢「宮丘メルヘンコース」である地下鉄宮の沢駅～宮の沢しらかば公園～宮の沢ふれあい公園～宮の沢松の木公園～宮の沢かっこう公園～宮丘トンネル前・宮丘公園駐車場～宮丘公園芝生広場～上手稲神社～白い恋人パーク・ファクトリー～白い恋人サッカー場の約４ｋｍのコースで、お盆期間中の企画でしたが予想より多く 18 名の方に参加して頂きました。

（上手稲神社境内）

新川水系河川である中の川、宮の沢川の支流に沿って民家に沿って狭い散策路が完備されておりました。帯工を勢いよく川が流れており、急流の為この様な帯工が沢山あり又登りの為皆さんは汗ばんできました。川沿いにはムクゲ、ノリウツギ、ツリバナ等を観察しながら北１条宮の沢通りに出てきました。



（白い恋人サッカー場で）

宮丘公園は３３ヘクタールと広大な敷地で、駐車場から長い急な階段を上がると広い芝生が広がり家族ずれで賑わっている事が多いそうです。本日は高校吹奏楽部の女生徒が練習をしており我々の為にトランペットを奏でていただき拍手を致しました。上手稲神社は、宮丘公園に隣接した神社で社殿の屋根が急勾配で一見教会風な建物とまちがえそうなイメージでした。

ファクトリーウォークは中庭、札幌からくり時計塔等お菓子の「白い恋人パーク」がメルヘンの世界を醸し出しており、最後に「白い恋人コンサドーレ札幌サッカー場」を見学し解散しました。厚別区から参加した６０代の女性は「札幌にいながら西区の事が解らなく勉強になりました。企画ありがとうございました」と笑顔で話しておりました。

平成２９年９月２４日（日）、定山渓　「夕日岳」　登山

（夕日岳山頂）

定山渓神社コースである登山口～見晴台～山頂（５９４ｍ）を踏破しました。地下鉄真駒内駅に０９：１０に集合、登山口を１１：００にスタート～見晴台で休憩～山頂で休憩～１３：１０に下山しました。天候は晴れ、気温１９℃（登山口）、参加人員は１８名でした。

前日の雨で登山道は細く、ぬかるみでしたが、天候も回復し気温もあがり皆さん元気に登りきりました。

途中の見晴台では、定山渓温泉が一望できました。又、山頂では木々が生茂り展望ができなかったのは残念でした。各人の体力に応じマイペースで約２時間余の登山を終え、温泉に浸かり疲れを癒していました。ある女性の参加者は時々藻岩山に登りますが、今日の夕日岳の方がきつかったが、又機会があれば参加したいと言っていました。

（定山渓神社境内）

（見晴台）

（定山渓を一望）

会　員　の　広　場

「　絵画展　自分の絵　を観て」

執行委員　竹田　弘

当会の「夕日岳登山」を終えて、湯ノ花温泉できゅうけい歓談の時、顧問の芳賀さんから絵画展「自分の絵」という案内状をもらった。もし興味と時間があればぜひ見に来てくださいとのことで、出展者名を見ると芳賀さんご夫妻の名前が並んでいた。奥さんが絵筆を持たれる事は早くから知っており、ぜひ拝見したいとオープン初日（10 月 3 日）に大丸藤井７Ｆホールに出掛けた。会場には芳賀さんも在席しており、簡単な説明を聞きながら拝見することができた。私は、絵を見ることは大いに興味を持つが、自分で絵筆やペンを持つ心のゆとりがなく、絵を描ける人が羨ましといつも思っている。

奥さんの淳子さんは、数年前当会の「尻別岳登山」の時頂上で短い休憩中に、早速絵筆を執ってスケッチされていた姿が妙に印象強く残っている。その後、芳賀さんの山の記事や印刷本の中で、適確なカットを目にしていたが、今回はアクリル画の「静物」２点を拝見した。

芳賀さんご本人はやはり山の絵で、「新緑に映える山」と、かつて５９年前登頂したチョゴリザへのキャラバンの途中で見たＫ２の壮観を画いた「１９５８年のＫ２」の２点であった。いずれも画布にセメントを盛りつけて立体感を出し、その上に彩色を施し見事な山容を表現していた。この独特な手法の説明を受け非常に感銘を受けたものである。

いずれもご夫妻で、同じ趣味を楽しんでいる事を羨ましく思ったことと、この会の代表者も在席して他の客に対応していたが、８９歳との事でその若々しい姿に感心したところである。

「静物」

「新緑に映える山」と「１９５８年のＫ２」

（事務局からのお知らせ）

○会員募集のお知らせ

ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会では広く会員（年会費 2,000 円）を募集しています。夏季はウォーキング等、冬季はクロスカントリースキー講習会、道民・札幌市民歩くスキーの集い等を実施しています。特に歩くスキーについて親切にご指導致します。是非ご紹介等お願い致します。

○会費について

平成 29 年度個人、家族会費の未納者が 5 名程います。もし忘れている方は納めて頂けるようお願い致します。

○助成金、広告協賛金について

・H29.　7.19　助成金　　平成 29 年度さぽーとほっと基金 140,000 円（道民・市民歩くスキーの集い）
・H29.10.17　助成金　　平成 29 年度（公財）北海道地域活動振興協会 30,000 円（道新Ｊｒ歩くスキー教室）
・H29.10.20　広告宣伝費　㈱日信　10,000 円（道民・市民歩くスキーの集い）

○はじめての人でも「歩くスキーを楽しめる本」定価８４０円

歩くスキーを初めての方にもわかりやすく解説している本です。
事務局にて販売中です（書店にはありません）。

ＮＰＯ法人　北海道歩くスキー協会事務局
〒064-0808 札幌市中央区南８条西２丁目５－７４　市民活動プラザ星園　４０５号室
電話/ＦＡＸ：　０１１－５３２－７１６０
受付日：火、水、金、土曜日　受付時間：１０時００分～１７時００分
ホームページ　：　h-arukuski.sakura.ne.jp
メール　：　h_arukuski@yahoo.co.jp
郵便振替口座-記号-番号：０２７４０－８－１００３３５　北海道歩くスキー協会